

(1) 琴 浦 橋 側 面

琴

浦

橋

東京府土木部橋梁課

### 1、橋梁概説

本橋は本誌第一卷第二號に於て目下施工中として掲載されたものであるが、其後着々工事の進捗を見て昭和九年八月全部竣工せしを

以て以下其の概略を記す。

架橋地は第十卷第二號71頁の附圖に見る如く、府縣道第三號青梅甲府線の内氷川町より昨年殆んど同時に竣工開通せる氷川大橋（鐵筋混凝土拱橋）南氷川橋（スバンドレル・ブ

レースド・アーチ) 辨天橋(ゲルバー式ワーレン構橋) 笹平橋(直弦鋼構拱橋)を徑て氷川町より約1.5km上流の多摩川に架設された。

型式選擇に就いては上記四橋と地形、徑間長共に全く類似し、而も僅か延長1.5kmの同一路線に相接して架せられる關係上「レースド・リブ・アーチ」型を選び多少共趣向に變化を與へた。即ち橋全體からくる簡單雄大なる線をして幽邃なる周圍の溪谷風景と一致せしむるを目的とし、「プレーシング」の如きも成る可く簡單化を期す。

中央徑間を60米、兩側徑間を各10米とし、中央徑間には百分の一の拋物線勾配を、側徑間には50分の1の直線勾配を附す。橋幅に比し橋高大なるため安定を良くする必要上橋梁側面に10分の1の傾斜を與へた。尙柱下部の拱環間には特に「プリズム型」の繫材を入れて一層強固なものとした。

架設は「ケーブル・エレクション」に依り

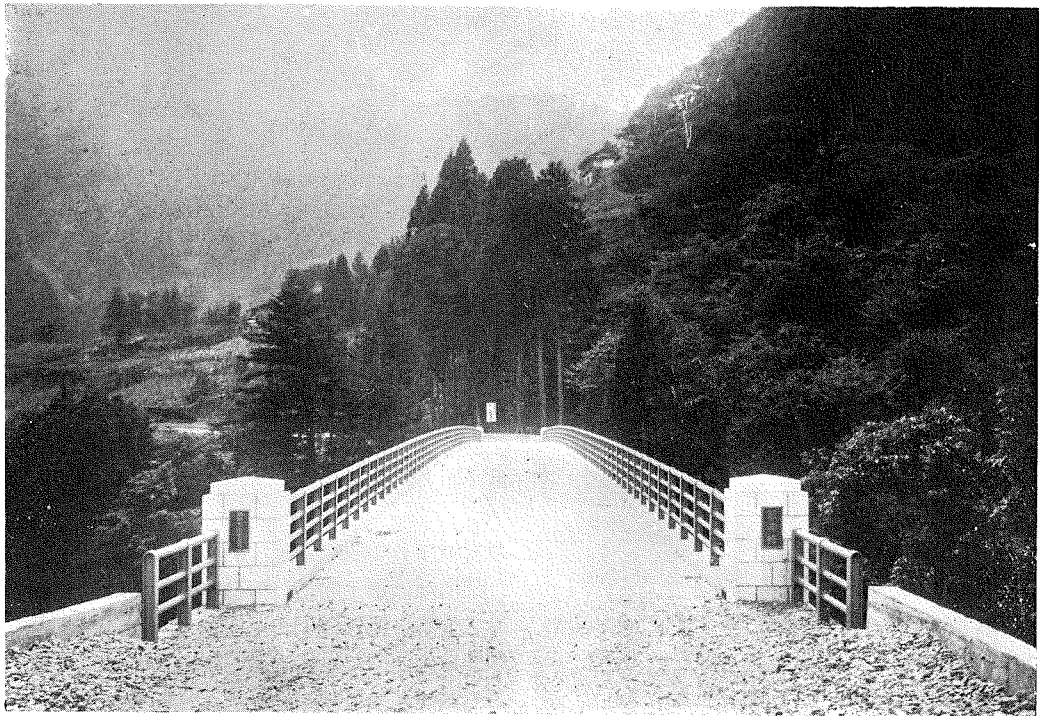
先づ拱環を全部架設して後上部に移つた。橋面には「コンクリート」鋪裝を施工した。

本橋の完成は前記四大橋と共に産業開發に貢獻すべきは勿論、近來都人士が奥多摩溪谷の仙境に入り奇岩、碧水に臨み腸を洗ふべく一日の清遊を簡易化せしめつゝあり。

## 2、設 計 一 覽

路線名	府縣道第三號青梅甲府線
位 置	東京府西多摩郡氷川村
河川名	多 摩 川
橋 種	レースド・リブ・アーチ
荷 重	三 等 橋
徑 間	中央徑間60米、兩側徑間各10米
橋 長	80.48米
有効幅	4.5米
橋面積	362.16平米
鋼 材	137.49噸
總工費	48,361圓

### (2) 琴 浦 橋 正 面

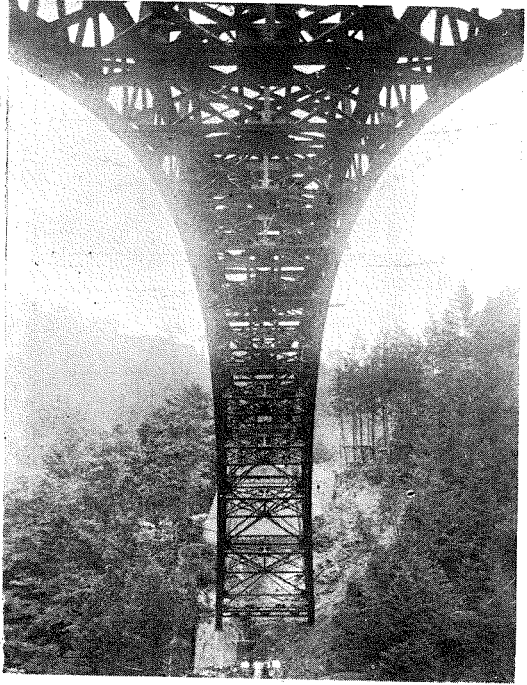
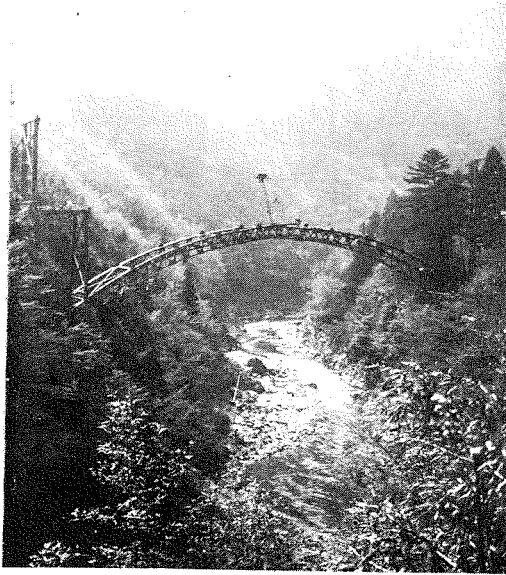


單價 133.53圓 平米

工期 8.11.30—9.6.15

請負人 上下部奥平周作、鐵部宮地鐵工所  
以上

(5) 琴浦橋拱助仰觀



(4) 琴浦橋拱助鋼設作業(ケーブルエレクション)

(6) 完成せる琴浦橋



